

「市民意識調査」へのご協力をお願いします！

～ あなたの貴重な声が札幌の未来をつくれます ～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

この調査は、市民の皆さまのお考えやご要望を政策に反映させるため、無作為抽出により、**5千人の市民の方**にお送りしている**重要な調査**です。これまでも、約50%の方にご回答いただいております。

ぜひ、市政に関する**あなたの声をお聞かせください**。よろしくお願いいたします。

ご安心ください

本調査は無記名です。**個人のお名前が公表されたり、回答者が特定されることはありません**。※下記の回答用コードも無作為で設定しており個人を特定するものではございません。

【回答期限】

令和8年 **7月5日（日）** までにご回答ください

◆ 回答方法

この調査票に直接記入し、ご回答後、同封の封筒に入れて返送してください。

【ご回答手順】

1. 調査テーマは1～5まであります（次ページ参照）。
各テーマの設問に従って、**調査票に直接回答をご記入ください**。
2. ご記入後、本ページの折線に沿って、三つ折りにし、同封の**「返信用封筒」に入れてください**。
3. **上記の回答期限までに郵便ポストへご投函ください**。

※ **ご記名及び切手貼付は不要**です。

※ 鉛筆・ボールペンなど筆記用具の種類は問いません。

※ 回答に要する**目安時間は15分程度**です。

◆ 調査テーマについて

番号	テーマ	掲載ページ
1	札幌市民の自転車利用について	3～4
2	雪対策に関する取り組みについて	5～7
3	防災意識・災害への備えについて	8～10
4	「札幌芸術の森」の魅力向上に向けた今後の施設の在り方について	11～13
5	さぽーとほっと基金について	14～15

- ・ 今回の調査は上記の5テーマです。
- ・ 各設問の案内に沿って、該当する番号を○で囲んでください。

次ページから調査開始です。最後までご回答よろしくお願いいたします。

市政広告 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

札幌市公式 SNSのお知らせ

札幌市では、イベント情報や災害情報など、市政に関する情報を公式SNSで発信しています。
ぜひフォローして、旬な市政情報をゲットしてください！

X @Sapporo_PRD

市政やイベント、災害に関することなどを随時配信しています。



Youtube @SapporoPRD

過去に放送した広報番組や市長記者会見の生配信などをご覧いただけます。



LINE @sapp_ro **9言語での配信にも対応！**

市政やイベントほか、災害情報や除雪情報、ヒグマ出没情報などを随時配信しています。



Instagram @sapporo_prd

イベントや市政情報、広報さっぽろの記事情報などを写真や動画で発信しています。



SAPP_RO

テーマ1 札幌市民の自転車利用について

札幌市では、交通道德の向上と交通環境の改善を図るために市民運動を展開し、札幌市を明るく快適な交通安全都市とすることを目的として様々な活動を実施しております。
そこで、皆さまの自転車利用の状況をお伺いし、今後の活動の参考とさせていただきます。

問1 自転車の安全利用についてお聞きます。以下は、全て自転車に関係する正しいルールです。このうち、あなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。

- 1 自転車に対する交通反則通告制度(いわゆる青切符と反則金)が令和8年4月から導入されている
- 2 自転車は原則、車道の左側を走ることであり、歩道走行する場合は決められている
- 3 自転車で歩道を走る時は、歩行者を優先する
- 4 自転車で歩道を走る時は、歩行者に危険がないよう徐行しなければならない
- 5 自転車で歩道を走る時は、歩行者の妨げになりそうな時は一時停止しなければならない
- 6 一時停止の標識は、自転車も一時停止し、安全を確認し、通行しなければならない
- 7 自転車乗車用ヘルメットの着用に努めなければならない
- 8 車が自転車を追い抜く時は、十分な離隔を確保するか、その間隔に応じて減速しなければならない
- 9 車が自転車を追い抜く時は、自転車も車が追い抜きやすいように左端に寄らなければならない

問2 あなたは、自動車やオートバイの運転免許を持っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 持っている
- 2 持っていない
- 3 以前、持っていた

問3 あなたが自転車を利用する頻度はどのくらいですか。夏期(4月～10月)の状況について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|---------|---------------------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週3～4日 | } ⇒ 問4 へ ※1～4を選んだ方 |
| 3 週1～2日 | 4 週1回未満 | |
| 5 利用しない ⇒ 問10 へ | | |

《**問3**で「1～4」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。》

問4 あなたの自転車の利用目的について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------|-------|---------|
| 1 通勤 | 2 通学 | 3 買い物 | 4 仕事・業務 |
| 5 通院 | 6 送迎 | 7 習い事 | 8 レジャー |
| 9 その他 () | | | |

問5 あなたの1日の自転車利用時間について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1 30分以内 | 2 1時間程度 | 3 2時間程度 | 4 2時間以上 |
|---------|---------|---------|---------|

問6 あなたが自転車利用時に、実際に走行する機会の多い場所はどこですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 車道 | 2 歩道 | 3 その他 () |
|------|------|-----------|

問7 あなたは、自転車損害賠償保険(他の保険に付帯されているものも含む)に加入していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 加入している | 2 加入していない | 3 わからない |
|----------|-----------|---------|

問8 あなたが自転車で歩道を走行する理由について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 工事や駐停車する車両があるから | 2 自転車走行帯が狭いから |
| 3 車のスピードが速いから | 4 車道の交通量が多いから |
| 5 車道走行自体が怖いと思うから | 6 歩道の方が安全だと思うから |
| 7 その他 () | |
| 8 歩道を走行することはない | |

問9 あなたは、自転車の利用時にヘルメットを着用していますか。

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 着用している ⇒ 問10 へ | 2 着用していない ⇒ 問9-1 へ |
|-------------------------|---------------------------|

《**問9**で「2 着用していない」と答えた方にお聞きします。》

問9-1 あなたがヘルメットを着用していない理由として、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 必要性を感じないため | 2 販売価格が高いため |
| 3 頭髪が乱れるため | 4 持ち歩くのが面倒なため |
| 5 周りの人が着用していないため | 6 着用の努力義務化を知らなかったため |
| 7 気に入ったデザインがないため | 8 移動時間が短いから |
| 9 その他 () | |

《皆さまにお聞きします。》

問10 あなたが歩道を歩いているとき、歩道を走行する自転車のスピードについてどのように感じていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------|-----------|
| 1 もっと減速してほしい | 2 適切である | 3 その他 () |
|--------------|---------|-----------|

問11 あなたは、矢羽根型路面表示(※)という車道左端の青色の矢印表示を知っていますか。

※自転車の通行位置と方向を明示し、自転車利用者だけでなく自動車ドライバーにも車道上の自転車通行位置を知らせる法定外の路面表示。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問12 自転車の交通事故防止の取組みについて、あなたが特に効果的と思うものを3つ○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 自転車利用者への事故防止に関する呼びかけやチラシ配布などの街頭啓発 |
| 2 自転車のルール・マナーに関する講習会など、交通安全教育の促進 |
| 3 自転車走行路線の整備など、道路環境の整備 |
| 4 警察官による交通違反の取締り強化 |
| 5 警察官の街頭パトロールの強化 |
| 6 その他 () |

テーマ2 雪対策に関する取り組みについて

札幌市では、安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現に向けて、市民の皆さまや企業などと協働して雪対策に取り組んでいます。

令和8年1月24日から25日の記録的な大雪の際には、市民生活への影響を最小限に抑えるため、地域の費用負担を伴う生活道路のパートナーシップ排雪を中止し、全額市負担による「緊急排雪」を市内全域で初めて実施しました。

そこで、札幌市による道路の除排雪作業に関する認識や考え、市民の皆さまによる取り組みの現状などについてお聞きし、今後の雪対策の参考とさせていただきます。

《除排雪作業の種類》

新雪除雪：まとまって降り積もった路面の雪(新雪)を道路脇に寄せ、通行幅を確保する作業

排 雪：除雪で積み上げた道路脇の雪を、雪堆積場や融雪施設などへ運搬する作業

《道路の種類》

幹線道路：バス路線のように地域間や主要な地点を結ぶ、交通量の多い道路

生活道路：住宅地などから幹線道路に出るまでの間の道路

問13 あなたが特に除排雪作業に力を入れてほしいと思う道路はどれですか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

1 幹線道路

2 生活道路

3 特になし

問14 あなたは、今年1月に大雪が発生した際、札幌市が生活道路の「緊急排雪」を実施したことを知っていますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

1 実施したことを知っていて、作業の内容も知っている

2 実施したことは知っていたが、作業の内容は知らない

3 実施したことを知らなかった ⇒ **問15**へ

} ⇒ **問14-1**へ
※1～2を選んだ方

《**問14**で「1 実施したことを知っていて、作業の内容も知っている」「2 実施したことは知っていたが、作業の内容は知らない」と答えた方にお聞きします。》

問14-1 あなたは、どのような媒体から緊急排雪の実施を知りましたか。あてはまるものに**いくつでも**○をつけてください。

1 札幌市公式SNS (LINE、X、Instagram)

2 札幌市公式ホームページ

3 その他のウェブサイト

4 テレビのニュース番組

5 町内会の回覧

6 新聞

7 ラジオ

8 その他 ()

《皆様にお聞きします。》

問15 今年1月のような大雪が発生した際、「幹線道路」の通行環境について、あなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

1 車両がスタックするような路面の凸凹や段差の解消

2 道路脇の雪山の高さや交差点の見通しの改善

3 歩行者が通行できる歩道幅の確保

4 バス路線の遅延や運休の解消に向けた車道幅の確保

5 その他 ()

6 特になし

問16 今年1月のような大雪が発生した際、「生活道路」の通行環境について、あなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 最低限の通行幅の確保（車両1台と歩行者1名が安全にすれ違える幅3.2m程度）
- 2 車両がスタックするような路面の凸凹や段差、気温上昇によるザクザク路面の抑制
- 3 道路脇の雪山の高さや交差点の見通しの改善
- 4 その他（ ）
- 5 特にない

札幌市では、札幌管区気象台が発表する大雪警報や暴風雪警報時において、広報媒体を活用し市民の皆さまへの注意喚起を図っています。

問17 あなたは、今年1月のような大雪時や暴風雪といった気象警報が発表されたときに、どのような行動をとっていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 通勤通学時に、移動手段を変更している
- 2 通勤通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている
- 3 時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務形態や授業形態を変更している
- 4 不要不急の車による外出を控えている
- 5 特に普段と違う行動をとっていない

問18 あなたは、今年1月のような大雪が発生した際、ご自身の生活において特に必要だと感じた情報は何か。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 交通量の多い幹線道路の「排雪」の予定や進捗状況
- 2 住宅地などの生活道路の「排雪」の予定や進捗状況
- 3 交通量の多い幹線道路の「除雪」の予定や進捗状況
- 4 住宅地などの生活道路の「除雪」の予定や進捗状況
- 5 幹線道路等の混雑・渋滞情報
- 6 公共交通機関（バス、JRなど）の遅延・運休情報
- 7 現在の気象情報や今後の見通し
- 8 その他（ ）
- 9 特にない

問19 あなたは、大雪が予想される際や降雪時に、除排雪の作業予定や交通への影響などについて、どのような手段での情報提供を希望しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1 札幌市公式SNS（LINE、X、Instagram） | 2 札幌市公式ホームページ |
| 3 その他のウェブサイト・アプリ | 4 テレビのニュース番組 |
| 5 新聞 | 6 ラジオ |
| 7 その他（ ） | 8 特にない |

問20 札幌市では、昨年度、冬の暮らしに関する情報（札幌市の除雪に関する情報や冬のルール、除雪の出動情報など）を以下のように発信しました。あなたが、見たことがあって役立ったものにいくつでも○をつけてください。

《次ページに続きます。》

- 1 冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）
- 2 札幌市公式ホームページ（冬の暮らし・除雪）
- 3 テレビのデータ放送（HBC、NHK、HTB、UHB）
- 4 札幌市公式SNS（LINE、X、Instagram）
- 5 札幌市公式Youtube動画（ザクザク路面に関する札幌市からのお願い、冬歩きの心得）
- 6 Youtube広告
- 7 テレビのニュース番組、情報番組
- 8 新聞
- 9 ラジオ
- 10 デジタルサイネージ（チカホ、各区役所、北海道神宮など）
- 11 その他刊行物（啓発チラシ、パンフレット、ポスター、「さっぽろ雪の絵本」など）

敷地内の雪を道路上（車道・歩道）に出す行為は通行の妨げや事故の原因となり大変危険です。また、当行為は「道路交通法」や「道路法」で禁止されています。

問2 1 あなたは、これまで自宅敷地内に積もった雪を主にどのような方法で処理していますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 自宅敷地内の空きスペースに堆積している
- 2 公園や近所の空き地に堆積している
- 3 ロードヒーティングや融雪槽等の融雪施設で融かしている
- 4 民間企業などによる有料除排雪サービスを利用している
- 5 道路上に雪を出している
- 6 その他（）
- 7 雪を処理する機会がない

札幌市では、融雪施設（ロードヒーティングや融雪槽・融雪機）の設置費用を無利子で借りられる制度（融雪施設設置資金融資あっせん制度）があり、広報さっぽろや札幌市ホームページ、区役所や金融機関にパンフレットを配架するなどして、皆さまにご案内しています。

問2 2 札幌市の「融雪施設設置資金融資あっせん制度」について、現在のあなたのお考えに最も近いものに**1つだけ**○をつけてください

- 1 既に制度を利用している
- 2 以前から知っており、関心がある
- 3 以前から知っていたが、関心はない
- 4 今回初めて知り、関心がある
- 5 今回初めて知ったが、関心はない

問2 3 あなたは、冬に自宅前の雪を処理するため、民間企業などによる有料除排雪サービス（福祉除雪を除く）を利用しましたか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 利用している
- 2 利用を検討したが、予約がいっぱいで利用できなかった
- 3 利用を検討したが、費用が高くて利用しなかった
- 4 利用を検討したが、その他の理由で利用しなかった
- 5 利用していない

テーマ3 防災意識・災害への備えについて

札幌市では、近年の激甚化・頻発化する自然災害や社会醸成に応じた防災対策に取り組んでいます。そこで、皆様に災害に対する備えについてお聞きし、今後の防災対策の参考とさせていただきます。

災害時は、まずは自分の身を守る「自助」が重要となるため、札幌市では、災害の発生に備えて、平時から家庭での備えをお願いしています。

問24 あなたの「災害への備え」に対する考え方に一番近いものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 気になる対策があれば、すぐに取り入れる
- 2 「これは自分にも役に立ちそう」と納得できたら取り入れる
- 3 周りの多くの人が備えていて、「自分だけやってない」と不安になったら始める
- 4 大切さはわかっているが、自分には関係ないと感じている

問25 あなたは、どのようなきっかけがあると、「自分も備えよう」という気持ちになりますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 日頃から防災を意識しており、すでに十分な備えができている
- 2 テレビや新聞などで、大きな災害のニュースを知ったとき
- 3 防災が広く普及し、災害への備えがあるのが普通だと感じられるようになったとき
- 4 友人・知人などから、具体的にどう備えているか話を聞いたとき
- 5 今のところ、どのようなきっかけがあっても備えを始めるつもりはない

問26 あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものに**いくつでも**○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1 家具の固定や配置の工夫 | 2 家屋や塀などの補強 |
| 3 家族間での連絡方法や集合場所などの共有 | 4 備蓄品や非常持ち出し袋の用意 |
| 5 テレビや書籍等での知識取得 | 6 自家用車への早めの満タン給油 |
| 7 避難方法や最寄りの避難所の確認 | 8 ハザードマップの確認 |
| 9 地震保険や水災保険などへの加入 | 10 親戚や知人宅への避難の相談 |
| 11 食料品や飲料水の多めの買い置き
(ローリングストック) | 12 地域での防災訓練やイベントへの参加 |
| 13 防災アプリのインストール
(スマートフォン等) | 14 その他 () |
| | 15 特になにもしていない |

問27 札幌市では災害への備えとして「最低3日分、できれば1週間分」の備蓄(食料や水など)を勧めています。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 具体的な日数まで知っていた
- 2 備えが必要なことは知っていたが、具体的な日数までは知らなかった
- 3 備えが勧められていることを知らなかった

問28 あなたは、災害に備えて、以下の品目を「何日分」くらい用意していますか。次のア～ウのそれぞれの項目について、あてはまる数字に**1つずつ**○をつけてください。

品 目	1日分	2日分	3～6日分	1週間以上	用意なし
ア 飲料水	1	2	3	4	5
イ 食料	1	2	3	4	5
ウ 携帯トイレ	1	2	3	4	5

《問28で、ア～ウのいずれかの項目で「1日分」または「2日分」と答えた方にお聞きします。》

問28-1 あなたが、3日以上以上の備蓄をすることが難しい理由は何ですか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 備蓄で用意したものをこれ以上置く場所がない
- 2 家計の中で、備蓄を用意したり、買い足す費用の優先度が低い
- 3 備蓄の量が増えると管理するのがわずらわしい
- 4 1日分または2日分あれば十分であり、その間に公的な支援や物流が復旧すると考えている
- 5 特に理由はない

問28-2 あなたは、どのようなきっかけがあれば「3日以上」の備蓄ができると思いますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 備蓄を日常生活で活用できることに気づいたとき
- 2 備蓄品の置き場所を確保できたとき
- 3 友人・知人などが備蓄の工夫について教えてくれたとき
- 4 自分の備えが、周りの人と比べて「あと少し足りない」と気づいたとき
- 5 今のところは、1日分または2日分で十分だと感じており、備えを増やすつもりはない

《問28で、ア～ウのいずれかの項目で「3～6日分」または「1週間以上」に○をつけた方にお聞きします。》

問28-3 あなたは、具体的に、どのような方法で備蓄を始めましたか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 買い物に行くたびに、日常使いとして1、2個多く買うことから始めた
- 2 まずは「飲料水」（あるいは、食料、携帯トイレ）を1、2箱まとめ買いした
- 3 備蓄品のセットを購入した
- 4 物を買う前に、置き場所を確保することから始めた
- 5 その他（ ）

《皆さまにお聞きします。》

問29 あなたは、どのような「普段の暮らしの中での工夫」であれば、無理なく備蓄を続けられますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 いつも使うものを少し多めに買い置きし、使った分を買い足して備蓄を一定に保つこと
- 2 備蓄をしまい込まず、使いやすいところに置いて、手が届く範囲で管理できること
- 3 カセットコンロや充電器など、日頃の生活の中で使って慣れておくこと
- 4 今のところ、普段の暮らしの中で備蓄への工夫を取り入れるつもりはない

2024年1月に能登半島地震が発生しました。札幌市でも、厳冬期に大地震が発生した場合が最大の被害になると想定しています。

問30 あなたは、冬の災害に備えて、どのようなものを用意していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 防寒シート | 2 カセットコンロ |
| 3 ポータブル電源・乾電池等 | 4 暖かいインナーや靴下 |
| 5 防寒着 | 6 寝袋や毛布 |
| 7 防寒シートや 段ボール | 8 使い捨てカイロ |
| 9 その他 | 10 特になにも用意していない |

問31 冬に大地震が発生し、自宅の被害が少ない一方で、地域一帯が停電(ブラックアウト)となった場合、あなたはどこに避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 指定の避難所 | 2 家族・親戚・知人宅 |
| 3 車内 | 4 ホテルなどの宿泊施設 |
| 5 その他 | 6 避難しない(自宅に留まる) |

《問31で「6 避難しない」以外に○をつけた方にお聞きします。》

問31-1 あなたが避難しようと思う一番の理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 電化製品が使えないから
- 2 暖房機器が使えず、寒さに耐えられないから
- 3 乾電池や懐中電灯、モバイルバッテリーなどの備蓄がない、または少ないから
- 4 停電により水が使えないから(マンションなど)
- 5 不安だから
- 6 食べ物の備蓄がない、または少ないから
- 7 余震が心配だから
- 8 避難先に友人・知人などがいるかもしれないから
- 9 避難先に何か情報があるかも知れないから
- 10 その他
- 11 特に理由はない

《皆さまにお聞きします。》

問32 あなたは、日頃から災害に備えることで、札幌市でどのような「暮らし」を実現したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 自分や家族が、災害時も大きな不安を感じることなく家で過ごせる暮らし
- 2 お隣同士や知り合い同士が、災害時に無理のない範囲で助け合える暮らし
- 3 防災をきっかけに、普段から地域の幅広い世代につながりが生まれる暮らし
- 4 今のところは現状のままで良いと感じているため、思いつかない

テーマ4 「札幌芸術の森」の魅力向上に向けた今後の施設の在り方について

札幌市では、「札幌芸術の森」の一層の魅力向上に向け、今後の施設の在り方の検討を行っています。そこで、市民の皆さまの「札幌芸術の森」に関する意識又はご意見などをお聞きし、今後の魅力向上に向けた取組の参考とさせていただきます。

【札幌芸術の森】

札幌芸術の森は、昭和61年（1986年）7月27日にオープンしました。

広大な敷地に、野外と屋内の美術館、工芸館（陶芸・染色・織・木工等）、野外ステージ、アートホールなど多様な施設があり、豊かな自然の中で、観る、体験する、創る活動を通して芸術と出会い、体験できる場所として親しまれています。



↑札幌芸術の森
マルタ・パン
《浮かぶ彫刻・札幌》



↑札幌芸術の森クラフト工房



← 野外美術館
福田繁雄 《椅子になって休もう》

問33 あなたは、これまでに「札幌芸術の森」を訪れたことがありますか。

1 ある ⇒ 問33-1へ

2 ない ⇒ 問34へ

«問33で「1（訪れたことが）ある」と答えた方にお聞きします。»

問33-1 あなたは、「札幌芸術の森」へ誰と来ることが多いですか。最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 本人のみ | 2 家族（子供連れ） | 3 家族（大人のみ） |
| 4 友人・知人など | 5 その他（ | ） |

問33-2 あなたが「札幌芸術の森」を訪れた目的とその頻度についてお聞きます。次のア～オのそれぞれの項目について、あてはまる数字に1つずつ○をつけてください。

「札幌芸術の森」を訪れた目的とその頻度	毎日	週2回から6回程度	週1回程度	月1回から数回程度	年1回から数回程度	過去に数回程度	この目的では訪れない
ア 美術館、公演等の鑑賞	1	2	3	4	5	6	7
イ 「趣味」としての作品制作、発表の場	1	2	3	4	5	6	7
ウ 「仕事」としての作品制作、発表の場	1	2	3	4	5	6	7
エ 散策など公園としての利用	1	2	3	4	5	6	7
オ その他（ ）	1	2	3	4	5	6	7

問33-3 あなたは、「札幌芸術の森」を訪れたことで、どのように感じましたか。次のア～イのそれぞれの項目について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。ア～イ以外で感じたことがあれば、ウにご記載ください。

ア 芸術鑑賞や創作活動を通して感じたこと

- 1 文化芸術への知的好奇心や教養の向上
- 2 心身のリラックスやストレス軽減
- 3 自身の感性、想像力の育成
- 4 自身の創作活動への刺激
- 5 その他（ ）



イ 公園の散策を通じて感じたこと

- 1 森林浴や、遊歩道を歩くことによる健康増進
- 2 心身のリラックスやストレス軽減
- 3 四季の移ろいを感じたり、生息する動植物の観察を通じた感性の刺激
- 4 他者とのコミュニケーション
- 5 その他（ ）



ウ 上記ア～イ以外で感じたことがあればご記載ください

（ ）

↑札幌芸術の森美術館
「0さいからのげいじゅつのもり」

テーマ5 さぽーとほっと基金について

札幌市のさぽーとほっと基金は、皆さまからの寄付を募り、町内会・ボランティア団体・NPOなどが行うまちづくり活動に助成することで、札幌のまちづくり活動を支援しています。

【さぽーとほっと基金の特長】

特長1：思いにかなう寄付の行き先を選べる

- 寄付の際、応援したい【さぽーとほっと基金登録団体】【活動分野】を指定することができます。

特長2：税負担が軽減される

- 法人であれば法人税が、個人であれば所得税と個人住民税が軽減されます。



問37 あなたは、さぽーとほっと基金を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---|----------------------------|
| 1 知っている | } | ⇒ 問37-1 へ ※1~3を選んだ方 |
| 2 ある程度知っている | | |
| 3 名称は知っている | | |
| 4 名称も内容も知らない | | ⇒ 問38 へ |

«**問37**で「1 知っている」「2 ある程度知っている」「3 名称は知っている」と答えた方にお聞きます。»

問37-1 あなたが、さぽーとほっと基金を知ったきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 札幌市が発行している冊子やパンフレット
- 2 札幌市公式ホームページ
- 3 さぽーとほっと基金に寄付している企業の活動を通じて
- 4 市民まちづくり活動を行っている団体から紹介された
- 5 イベントや展示など
- 6 テレビ・ラジオ・新聞
- 7 家族や知人からの口コミ
- 8 他の窓口などで紹介された
- 9 その他 ()

問37-2 あなたは、さぽーとほっと基金に寄付をしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 寄付をしたことがある
- 2 寄付を検討したことはあるが、寄付をしたことはない
- 3 寄付を検討したことも寄付をしたこともない

《皆さまにお聞きます。》

問38 あなたは、今後さぽーとほっと基金に寄付をしたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。また、「4 寄付したくない」を選んだ方はその理由についても併せてご記載ください。

- 1 寄付したい
- 2 応援したい団体や、共感する活動分野・テーマがあれば寄付したい
- 3 制度について理解を進めてから検討したい
- 4 寄付したくない（理由： _____）

問39 あなたが、さぽーとほっと基金に寄付をする際に重要だと思うことは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 使い道の透明性が担保されている
- 2 情報発信・報告がしっかりしている
- 3 活動内容に共感できる
- 4 活動成果が具体的である
- 5 身近に活動していて親しみが持てる
- 6 寄付することで感謝状などの特典がある
- 7 その他（ _____）
- 8 特にない

問40 あなたは、寄付をする際にどの決済方法を利用したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 現金（市窓口、銀行窓口での納付書払い）
- 2 クレジットカード、電子マネー
- 3 その他（ _____）
- 4 特にない

問41 あなたが寄付をしたいと思う市民まちづくり活動(※)は以下のどのような分野の活動ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「6 寄付したいと思わない」を選んだ方はその理由についても併せてご記載ください。

※市民が営利を目的とせず、市内において町内会、自治会、ボランティア団体、特定非営利活動法人等又は個人により自発的に行う公益的な活動。

- 1 保健、医療、福祉の増進を図る活動
- 2 まちづくりの推進を図る活動
- 3 文化・スポーツ・観光・経済等の振興を図る活動
- 4 子どもの健全育成を図る活動
- 5 寄付したいと思うが、分野にこだわらない
- 6 寄付したいと思わない
（理由： _____）
- 7 その他（ _____）

《最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。》

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F2 あなたの年齢は（令和7年8月1日現在）

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 18～19歳 | 2 | 20～29歳 | 3 | 30～39歳 | 4 | 40～49歳 |
| 5 | 50～59歳 | 6 | 60～69歳 | 7 | 70～74歳 | 8 | 75歳以上 |

F3 あなたは現在何区にお住まいですか

- | | | | | |
|-------|-------|------|-------|--------|
| 1 中央区 | 2 北区 | 3 東区 | 4 白石区 | 5 厚別区 |
| 6 豊平区 | 7 清田区 | 8 南区 | 9 西区 | 10 手稲区 |

F 4 あなたのご職業は（もっとも近いもの1つに○をつけてください。）

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F5 あなたの同居しているご家族は（あてはまるものにいくつでも○をつけてください。）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 配偶者 | 2 乳幼児（０～２歳程度） |
| 3 就学前児童（３～５歳程度） | 4 小学生（６～１２歳程度） |
| 5 中学生（１３～１５歳程度） | 6 高校生（１６～１８歳程度） |
| 7 大学（院）・専門学校生 | 8 ６５歳以上の高齢者 |
| 9 上記「１」～「８」以外の方 | 10 いない |

以上で調査は終了です。お疲れ様でした。

このたびは、お忙しいところ調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

＜ ご回答後は以下の手順で郵送してください ＞

- ① この調査票を1ページ目の折線に沿って、三つ折りにしてください。
- ② 同封の返信用封筒に入れてください。
- ③ 無記名で切手を貼らずに、郵便ポストにご投函ください。

投函期限 令和8年7月5日（日）

※期限までにご投函いただいた分を集計対象とさせていただきます。

【よくある質問(FAQ)】

https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminokoe/citi_eng/faq.html



【市民意識調査に関するお問い合わせ先】

札幌市総務局広聴部市民の声を聞く課
電話：011-211-2045 担当：浅川

SAPP_RO